

第49回 Café プレイエル 定例コンサート  
**渡辺 しおり ソプラノ 連続演奏会**  
**ピアノ 中山 博之**

～ アンティークピアノの響きにのせて～



Vol.2 2015 3/16 (月) 14:00 開演

美しい春に

～ オペラ・アリアと春の調べ



使用ピアノ プレイエル PLEYEL No.174215 1923年 in Paris  
 エラール ERARD No.95463 1909年 in Paris

Café プレイエル&ギャラリーやましろ



Program

フォーレ 蝶と花 Le papillon et la fleur  
 R.シューマン “ミルテの花”より 献呈 “Myrten” Widmung  
 クララ・シューマン “愛の春”より あなたはやってきます、嵐と雨の中を  
 Liebesfrühling Er ist gekommen in Sturm und Regen  
 あなたが美しさゆえに愛するのなら  
 Liebste du um Schönheit  
 どうして他の人たちに尋ねようとするの  
 Warum willst du and're fragen

ブラームス メロディーのように Wie Melodien zieht es  
 別宮貞雄 さくら横ちょう 加藤周一 詩  
 滝廉太郎 花 武島羽衣 詩  
 マスカーニ オペラ “友人フリッツ”より このわずかな花を  
 L'Amico Fritz Son pochi fiori  
 ブッチーニ オペラ “ジャンニ・スキッキ”より 私のお父さん  
 Gianni Schicchi O mio babbino caro  
 チマーラ 春の歌 Canto di Primavera  
 〈ピアノ・ソロ〉 ショパン ノクターン Op.32-2

《 休 憩 》

ヴェルディ オペラ “シチリア島の夕べの祈り”より ありがとう、愛する友よ  
 I Vespri Siciliani Merce, diletto amiche  
 小林秀雄 “演奏会用アリア” すてきな春に 峯 陽 詩  
 ブッチーニ オペラ “蝶々夫人”より 空にも陸にも春風がそよぎ  
 Madama Butterfly Spira sul mare  
 坊やの母さんは  
 Che tua madre dovrà prenderti

〈ピアノ・ソロ〉 ショパン バラード 第2番 へ長調 Op.38

ベネディクト 麗しい四月が (みそさざい) Col ritornar del dolce april  
 ラフマニノフ 春の悲しみ Какъ зонтъ больно  
 ここはずばらしい Здесь хорошо  
 春の洪水 Весенние воды

**蝶と花** フォーレ 16歳のときの最初の歌曲作品。蝶と花の恋物語が軽やかに歌われる。 **献呈** シューマンは結婚式の前夜に、「愛する花嫁へ」と書いた新しい歌曲集を、純潔の象徴であるミルテの花で飾ってクララに手渡したと伝えられている。その1曲目で、熱烈な愛の歌。 **愛の春** 新婚のシューマン夫妻二人の合作で、リュッケルトの詩に基づく12曲からなる歌曲集。そのうちクララの作品は3曲だが、特に「どうして他の人たちに尋ねようとするの」は批評家に絶賛された。 **メロディーのように** ブラームスが50歳の時に出会ったコントラルトの歌手ヘルミーネ・シュピース。ブラームスは彼女の歌唱力の素晴らしさと女性としての魅力に惹かれ、また、同郷の友人で詩人のグロートも彼女に惹かれた。二人は夜を徹してヘルミーネについて語り合い賛美しあった。その中で詩が生まれ、曲がつけられた。詩人と作曲家二人の思いが一つになって生まれた美しい名歌。 **さくら横ちょう** 「小学校の頃、道の両側に桜がある桜横丁と呼ばれる町に、同じ小学校に通う娘が住んでいた。大柄で華やかで、限りなく美しく、女王のように崇拜者たちを身の廻りにあつめているその娘を、私は遠くから眺め、二人きりになることができれば、と空想していた。詩人の加藤はそんな思いを詩にした。同じ詩に中田喜直も曲を付けており、どちらも声楽家に愛唱される名歌。 **花** 滝廉太郎は大学卒業後ドイツに留学したが、結核にかかり帰国。失意のうちに23歳の若さで亡くなった。「花」は歌曲集「四季」の第1曲。 **友人フリッツ** このオペラは、女性に興味が無い独身主義の主人公が最終的には女の子に恋していくという恋愛コメディ。独身主義のフリッツの誕生日、村娘スゼルが祝いの挨拶に来る。スゼルはフリッツにスマイルの花束を差し出し **このわずかな花を**とロマンスを歌う。 **ジャンニ・スキッキ** 主人公のジャンニ・スキッキが、大富豪の遺産を巡る親戚間の騒動と、若い男女の恋を見事に解決するさまをコミカルに描いた喜劇。スキッキの娘・ラウレッタは恋人との結婚を許してほしいと **私のお父さん**を歌う。 **春の歌** チマーラは19世紀末にイタリアに生まれ、ベルカントの伝統を受け継いだ美しく甘い旋律の歌曲を数多く残した。この歌はイタリアらしい明るさに満ちたスケールの大きい春の讃歌。 **ノクターン Op.32-2** ショパンの21曲のノクターンは「ピアノの詩人」としての持ち味が最大限に発揮された甘美な旋律の宝庫。Op.32は恋人マリアとの縁談が破局し、運命の人ジョルジュ・サンドと初めて出会った頃に書かれた。シンプルな中に情熱的な盛り上がりを見せる曲。 **シチリア島の夕べの祈り** シチリア島でのイタリア人とフランス人との、愛と複雑な親子関係、国と国の争いを描いたオペラで、**ありがとう、愛する友よ** は前シチリア島の王の妹エレナが、結婚式で人々の祝いの合唱に答えて歌うアリア。 **すてきな春に** 春に始まった恋。“やさしく腕を組んだ”こと、“あなたの胸に泣いた”こと以外、二人の間に何があったかは描かれていないが、胸がどきどきするような素直な想いを軽やかに華やかに歌う。 **蝶々夫人** アメリカ海軍士官のピンカートンは長崎で、元士族の娘 15歳の蝶々さんと戯れに結婚する。結婚式を挙げるため、村娘連に伴われて蝶々さんが丘を登ってきて **空にも陸にも春風がそよぎ**と登場のアリアを歌う。ほどなくピンカートンはアメリカに帰ってしまうが、蝶々さんは待ち続けている。3年後、二人の仲を取り持った領事シャープレスがピンカートンからの別れの手紙持ってきて、金持ちのヤマダの所に嫁くよう勧めるので怒った蝶々さんはピンカートンが帰った後に生まれた子どもを見せて、**坊やの母さんは**を歌う。